



# たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 「都心直結線」調査費を予算化

### 県の要望で国が2億1600万円

#### 北千葉道路推進議員連盟事務局長に就任



登壇し、一般質問を行う滝田敏幸県議

#### 現役最多、21度目の質問戦登壇 (07~15年)

00万円の内数が計上されました。県としても、来年度当初予算案には、成田空港へのアクセス改善に係る調査費を計上したところであり、国の調査に協力するとともに、整備に向けた国の検討がさらに加速するよう働きかけていきたいと考えています。

都心を結ぶ空港アクセス線の二翼を担う重要な路線と認識しており、また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えていることから、しっかりと支援していきたいと考えています。

鉄道の利便性が高まれば、鉄道利用者の増加も見込めることから、鉄道事業者には引き続き努力いただくとともに、県は成田空港の更なる活性化、沿線市は住民が住みたくなるような環境整備を進めるなど、地域と鉄道の共存共栄に取り組んでまいりたいと考えています。

県議会随一の論客として注目される印西市選出の滝田敏幸県議は2月26日、定例県議会において現職県議中、最多となる通算21度目の質問戦で登壇。成田・羽田のアクセス強化を目的とする都心直結線や北総鉄道問題、北総地域道路整備、手賀沼土地改良事業、ラグビーW杯キャンプ地誘致とスポーツ振興など、県政の重要課題について森田健作知事はじめ執行部へ質疑を行いました。特に、滝田県議が県へ働き掛け、国に対し重点要望を実施してきた「都心直結線」の調査費2億1600万円が新年度予算化。さらに、県立印旛明誠高校の学級増や指定廃棄物一時保管問題ほか県政の地元課題で結果を残すなど、その政治手腕が高く評価されています。また、昨年末の定例会では、自民党県議35人が参加する北千葉道路推進議員連盟事務局長に就任。千葉県政においてますます、発言力と存在感を高めています。

#### 県新年度予算、1兆7095億円を審議

滝田議員 成田空港と東京駅、そして空港を結ぶ都心直結線は、将来を見据えた成田空港の機能向上策としてこれ以上のものはない。成田・羽田両空港間のアクセス強化に向けた都心直結線の見直しについて、県はどのように考えているか。

滝田議員 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、北総鉄道の耐震化対策について、県はどのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 鉄道施設の耐震化は、国土強靱化の観点から、国が支援を拡充しているところであり、国の平成26年度補正予算で17億3000万円、来年度予算では18億1000万円の内数として、鉄道施設の耐震対策費が計上されました。

#### ●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

**たきた敏幸事務所**  
〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

#### たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選
- 2013年 総務防災常任委員長

現職

- 県議会 議会運営委員会委員

# 印旛沼舟戸大橋架け替え事業 5億1000万円予算化へ

た。現在は仮橋前後の取付道路の工事を実施しているところだ。

取付道路が完成した後、旧橋の撤去や本体工事に必要な作業用構台の設置などに着手する予定だ。今後とも速やかな事業の推進に努めていく。

**【要望】** 滝田議員 事業の進捗状況と今後の見通しについては概ね了承した。地元の見通しにも日に高まっているが、今後は舟戸大橋前後(印西市・佐倉市)の歩道整備についても地元市と協議を行っていただくよう要望する。

## コスモス通りの用地取得正念場 面積へ80%に

滝田議員 県道千葉竜ヶ崎線大森バイパス、通称コスモス通り



北千葉道路工事進捗状況を視察する滝田議員

取得にあたっての県と地元市の協力関係はどうなっているのか。

農林水産部長 推進協議会の設立を受け、県として今度のように手賀沼地域の土地改良事業を推進していくのかとの質問ですが、

農林水産部長 推進協議会の設立を受け、県として今度のように手賀沼地域の土地改良事業を推進していくのかとの質問ですが、

## コスモス通り 若草大橋延伸線 印西地区県道整備を重点要望

スモス通りの進捗状況と今後の見通しはどうか。

農林水産部長 印西市草深地先から大森地先までの2・5キロでバイパス整備を進めています。現在、用地の取得状況は面積ベースで約8割となっています。今年度は用地の取得を進めるとともに、終点側の改良工事を実施しています。今後とも事業の推進に努めていきます。

## 道路用地取得 印西市へ委託

滝田議員 事業の進捗については理解した。ただし、本事業は工事着手から約10年が経過し、今後、千葉ニュータウン事業の進捗が加速化する中、千葉県にはスピード感をもった対応が求められている。

農林水産部長 推進協議会の設立を受け、県として今度のように手賀沼地域の土地改良事業を推進していくのかとの質問ですが、

農林水産部長 推進協議会の設立を受け、県として今度のように手賀沼地域の土地改良事業を推進していくのかとの質問ですが、

引き続き、印西市の協力を得ながら、残る用地の取得に努めてまいります。

## 手賀沼土地改良事業

**【要望】** 滝田議員 県は委託先の印西市の用地交渉を今後とも支援するとともに、地元市道整備との整合性をもった事業に努めていただきたい。

## 地域と一体となって推進

滝田議員 市長を発起人代表とし、関係9市と地元土地改良区を構成員とした「手賀沼地域農業農村整備事業推進協議会」が発足した。そこでうかがうが、推進協議会の設立を受け、県として今後沼地域の土地改良事業を推進していくのか。



左から高田純、佐藤優、鈴木宗男の各氏

県政報告会が予定されていますが、衆院選公示と重なり急ぎよセミナーに変更。600人を超す聴衆の前でスピーチを行うとともに、国家と地方、政治と人生そして友情について参加者と語り合いました。



満員盛況となった会場

## 北総セミナー2014

滝田県議は12月2日、成田市で行われた北総セミナー2014に鈴木宗男・新党大地代表、佐藤

優・元外務省主任分析官、高田純・札幌医科大学教授らとともに参加しました。当初、滝田敏幸・

このため、推進協議会の意向を踏まえつつ、具体的

な国営事業計画策定に必要な調査事業について、早期実施を国に要望するとともに、ほ場整備による担い手への農地集積や、用水のパイプライン化を図ってまいります。

改良区との調整など、推進協議会の活動にも積極的に参画し、効果の高い事業計画の検討を行うなど、今後とも、地域と一体となって、本地域の土地改良事業を積極的に推進してまいります。

## たきた・県政報告会

## たきた敏幸県政報告会



千葉ニュータウンで講演する森田知事 (1/31)

森田健作・千葉県知事を印西市に招き、滝田敏幸・県政報告会が開催されました。会場には約200人の市民が集まり超満員となりました。

処分問題などについて、県及び議会の取り組みについての明快な説明と決意表明がありました。また、森田知事と滝田県議の強い絆、千葉県政と印西市の接近が多くの市民に深く印象付けられました。

## 印旛明誠高、学級増へ

### 速報!

地元市長と市議会から要望を受け平成26年度、滝田県議が取り組んだ「印旛明誠高校学級増」について、千葉県教育庁は新年度予算案で同校単位制の充実に3200万の設計費を計上。総事業費6億5千万円、平成30年供用を公表しました。

110年の歴史を誇る地元伝統校発展にとって大きな一歩であり、結果を残した滝田県議の交渉力と政治力に対し内外の評価も高まっています。

平成30年供用・総事業費6億5千万円